

実施団体	すさみ町木質バイオマス利用地域協議会
事業名	すさみ町における木の駅プロジェクト検討事業
事業目的、内容	<p>すさみ町が2018年度に策定した木質バイオマスエネルギー導入計画に基づき、温浴施設へのチップボイラによる熱供給が今後開始され、年間1千トン程度の木質燃料の需要が生まれる予定である。このチップボイラへの主な燃料供給元は町内の木くず中間処理施設が想定されており、木質バイオマス利用施設の導入が森林整備や地域経済に及ぼす効用は限定的である。</p> <p>そこで、効用を最大化するため「木の駅プロジェクト」で小径木を買い取って熱供給事業者に販売することで住民が自ら保有する山林の自伐や切捨て間伐材の搬出を促す。さらに、木の駅での支払いに地域通貨を使うことで町内の商店や飲食店を含めた地域内経済循環を形成する。</p> <p>これらの取り組みの第一弾として、木の駅プロジェクトの課題整理と講演会やワークショップを通じた木の駅立上げ機運の醸成、住民や事業者の意向確認などを行った。</p> <p>・参加人数 33名</p>

